



サーバ診断の実行

この章は、次の内容で構成されています。

- [サーバ診断の概要 \(1 ページ\)](#)
- [サーバ設定ユーティリティ イメージの場所の設定 \(2 ページ\)](#)
- [診断の実行 \(3 ページ\)](#)

サーバ診断の概要

サーバ診断は、UCS サーバ設定ユーティリティ (UCS-SCU) から使用できます。診断ツールを使用して、シスコ サーバのハードウェア問題を診断し、さまざまなサーバ コンポーネントに対してテストを実行し、ハードウェアの問題を見つけたり、テスト結果を表形式で分析することができます。

UCS-SCU イメージをダウンロードおよび設定し、リモート ロケーションに保存する必要があります。



(注) UCS-SCU イメージを使用して診断テストを実行すると、サーバが UCS-SCU イメージで再起動されるので、サーバが一時的に使用できなくなります。

Cisco IMC Supervisor では、サーバが存在するさまざまな地理的場所にまたがる複数の診断イメージを設定できます。これとせずと早く実行する診断は、その場所内のサーバとイメージの間の低遅延ネットワークが容易になります。

任意のラック サーバで診断を実行すると、そのサーバは設定した場所でホストされている UCS-SCU イメージでレポートされます。診断の表形式のレポートには、診断を実行した各サーバに関する診断のステータスが表示されます。また、サーバの詳細、レポートが生成された日時、診断ステータスなども表示されます。単一または複数のサーバに関する診断レポートを削除したり、ダウンロードしたりできます。



(注) サーバ診断を実行するには、SFTP ユーザーパスワードを設定する必要があります。SFTP ユーザーパスワードを設定するには、[SFTP ユーザーパスワードの設定](#) を参照してください。

サーバ設定ユーティリティイメージの場所の設定

UCS-SCU イメージの場所を設定して保存するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Server Diagnostics] を選択します。

ステップ 2 [SCU Image Profiles] をクリックします。

ステップ 3 [Server Diagnostics (サーバ診断)] ページで、[+] をクリックします。

ステップ 4 [Configure SCU Image Location (SCU イメージの場所の設定)] ページで次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[プロファイル名 (Profile Name)] フィールド	プロファイルの記述名。
[ISO Share Type] ドロップダウンリスト	[Network File System (NFS)]、[Common Internet File System (CIFS)]、[World Wide Web (WWW)]、または [LOCAL] 共有タイプを選択します。
[LOCAL] を選択する場合	
[SCU Image)] フィールド	SCUイメージファイルを参照、選択、およびアップロードします。
[NFS]、[CIFS]、または [WWW (HTTP/HTTPS)] を選択する場合	
[ISO Share IP] フィールド	ISO 共有 IP アドレスを入力します。
[ISO Share Path] フィールド	ISO 共有パスを入力します。
[Username] フィールド	ISO 共有ログインユーザ名を入力します。
[Password] フィールド	ISO 共有ログインパスワードを入力します。

ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

診断の実行

サーバまたはサーバグループの診断を実行するには、次の手順を実行します。



- (注) 3.0(3e) より古いバージョンの Cisco IMC が稼働しているサーバのローカル SCU イメージプロファイルを使用して診断を実行する場合は、Cisco IMC Supervisor で HTTP を有効にする必要があります。Cisco IMC Supervisor Shell Admin コンソールで HTTP を有効または無効にする方法については、『[Cisco IMC Supervisor Shell Guide, Release 2.2](#)』を参照してください。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Server Diagnostics] を選択します。

ステップ 2 [Run Diagnostics] をクリックします。

ステップ 3 [Run Diagnostics (診断の実行)] ページで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[Select Profile] ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストから、既存のプロファイルを選択します。
[Choose] ドロップダウンリスト	ドロップダウンリストから、診断をサーバで実行するかサーバグループで実行するかを選択します。
[Server(s)] または [Server Group(s)] ドロップダウンリスト	診断を実行するサーバまたはサーバグループを選択します。

ステップ 4 [Select] をクリックし、[Select] ダイアログボックスからサーバまたはサーバグループを選択します。

ステップ 5 [Select] をクリックします。

選択したサーバまたはサーバグループは、[Server(s)] または [Server Group(s)] フィールドの横に表示されます。

ステップ 6 [送信 (Submit)] をクリックします。

- (注) サーバもしくは複数のサーバ上で次のアクションを実行できます。
- レポートを表示するには、サーバを選択して、[View Report] をクリックします。
 - レポートを削除するには、1つ以上のサーバを選択して、[Delete Report] をクリックします。
 - レポートをダウンロードするには、1つ以上のサーバを選択して、[Download Report] をクリックします。診断レポートをダウンロードするために複数のサーバを選択した場合は、すべてのレポートを含む zip ファイルがダウンロードされます。
 - すでに診断操作を実行しているサーバは選択できません。そのサーバで別の診断をトリガーするには、診断操作が完了するまで待ちます。
 - 診断が終了するまでに約 40 分かかる場合があります。これは、サーバに存在するコンポーネントの数によって異なります。
-